

町田市議会議員・納税者主権

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集

町田市議会

〒194-8520
東京都町田市
森野2-2-22
TEL.042-724-2127

保守連合会派室



双方向の情報交流

東京都は町田の事を忘れている (市議会第3定例会一般質問)

第3定例会が10月6日で終了しましたが、今回も欠かすことなく一般質問を行いました。

交通ネットワークの問題では、東京都の都市計画交通プランに、小田急多摩線延伸とリニア中央新幹線橋本駅設置の記載がない問題を取り上げ、町田市行政の幹部が東京都にいかに対応するかを尋ねました。答弁した担当者は、町田市都市計画審議会での意見(私も委員として、上記の趣旨を積極的に発言しました)を東京都に意見として出すとの内容でした。

それでは、町田市の幹部(市長・副市長)に相応しい行動に関する答弁とはならない上に物足りない対応と考え、東京都から出向する有金副市長の発言を求めました。

再度、公式に町田市の主張を伝えることと合わせて、有金副市長自身が町田市の事情(吉田注:東京都の都市計画プランの文書に、町田市に関する個別の交通開発事項の記載を盛り込むこと)を訴える仕方でも努力するとの答弁がありました。

私は、そもそも東京都への要求を実現するために、引き続いて東京都から副市長としての人材を向かい入れていると考えてきました。以前の副市長の時代に、2名の内の1名の副市長を東京都から受け入れる意味合いを尋ねましたが、市長は大変役に立っているとの答弁をしたことがあります。今回の問題を通じて、その真価を問わせて頂こうと言う観点で見守っていきたいと思います。

自主防災のやり方と請願結果

市議会の第3定例会で、「スタンドパイプを自主防災会へ支給または貸与することに関する請願」が委員会、本会議で賛成多数で採択されました。

これは、震災等の火事に対して、住民の自主防災隊などが消火栓等からスタンドパイプ(道路上にある消火栓にこの機材を差し込み、ホースをつなぎ消火でき、軽量で操作も簡単にできる。*東京消防庁HPを参照して記載)を使って、早期に自主消火を行う方法です。これまでのバケツリレーしかできない時代から、住民の自主防災活動が大きく前進する発想で行なうものです。

これまで、東京都は地域の自主防災倉庫や学校単位に設置を進めようとしています。今回の住民請願はその設置カ所を、住宅地域のより身近に拡大しようとする趣旨です。



町田市総合防災訓練時の自主防災隊の雄姿



研修生・志村さん・佐藤さんが同席

保守連合の会派室に、スタンドパイプの請願者の訪問を受け、親しく懇談しました。

★マルチメディア双方向発信 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> ユーチューブ <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集者 〒194-0011 町田市成瀬が丘1-14-12サンホワイトE103-13吉田つとむ(自宅)

町田市議会報告 住民自治

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集

吉田つとむ自宅

〒194-0011
東京都町田市
成瀬が丘1-14-12
サンホワイトE103-13
☎042-795-7361

東京は地方を見捨ててはいかないと考える意見の討論

議員提出議案17号「地方税財源の拡充に関する意見書」に、反対討論をしました。

地方議員として、このタイトルに反対することを不思議に思われる方もあると考え、以下に説明をさせていただきます。

この意見書の趣旨は、法人住民税が地方にも配分される方針に反対する「東京都」の考えを代弁したものです。この主張は地方分権の考えにもとづき、その税収を地域の福祉などに使うべきだと言う建前です。一見もっともらしい考えに見えますが、現実には、中央（都区部）ばかりに税収が集中し、地方が疲弊して破たん寸前の状況にあります。つまり、地方においては住民の過疎化・高齢化が進行し、集落の自治、生活道路の管理、冠婚葬祭など共同体としての機能が衰退し、消滅に向かうとされているもので、地方自治体そのものが消滅しそうなプロセスに至っています。

国は、「地方創生」を政治の柱にしようとしています。それが地域にとってはラストチャンスなのではないでしょうか。一律ならば撒きでなく、地方にも、活性化した拠点を作る試みの為に、法人住民税が振り当てられることがいまこそ必要だと思います。自民党は新たな大臣において、この課題に取り組もうとしています。足元では上記のように、地方を顧みない意見書が出されています。

私は、「共生」の思想で政治家は動くべきものと言う立場で、反対討論に立ちましたが、今回は私一人の反対でなく、同じ会派の大西宣也副議長も同調してくれました。

朝日に求めた決議を可決

＜朝日新聞に対し「慰安婦報道」に関する誤報についての謝罪と 国連の人権に関わる機関等への訂正を求める決議＞が、市議会第3定例会の最終日、賛成20票、反対15票で可決しました。市議会報告vol.293でレポートしたのですが、この「決議」は保守連合会派主導で提起したものであり、結果を再掲したものです。ちなみに、似た内容で国会等に意見書を出す自治体議会はありますが、当事者に当てた「決議文」は初見のようです。

採決の翌日の読売新聞報道では、「決議は自民党と、無所属議員らで構成する保守連合の2会派が共同提出した」としています。誰が提案し、同調者が誰かを直接対象の議員にヒアリングでの取材をせずに事務局に資料をもらって記事を書く癖がこのような書き方になったのでしょうか。朝日の轍を踏まないように願っています。



定例会中、来訪者と研修生と一緒に記念写真

第4定例会の日程について

11月21日が定例会告示・議案配布、同28日：
本会議提案理由説明～12月22日最終日

掲載記事、あるいはご関心事は、下記のFAXかもしくはメールまでご送信先ください。

★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

Mail : yoshidaben@gmail.com mobile : yoshidaben@docomo.ne.jp 《モバイルのみ接続》

町田市議会報告 教育・文化

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



次期インターン生を募集しています

町田市議会

〒194-8520
東京都町田市
森野2-2-22
TEL.042-724-2171
FAX.042-724-1196

保守連合会派

渡邊 慧 研修レポート③-b

有名番組の「ビートたけしのTVタックル」(テレビ朝日)に、吉田議員が出演しました。相次ぐ地方議員の不祥事を受けて、地方議員代表としての出演でした。この放送を見て、実際に吉田議員から話を聞いた上で、地方議員選挙制度の問題について焦点を当てて書いていきたいと思えます。市議会議員選挙の期間は7日間と大変短く、その中で候補者の人柄や政策を知ることは困難です。そのため、「選挙の戦略」を持つ人が当選してしまうということもあります。しかし、これは選挙のシステム自体に問題があるようです。番組中の、地方議員は選挙期間中にビラを撒く事が許されていないという吉田議員の発言にはとても驚きました。おそらくこの事実を知る人は少ないでしょう。これでは、選挙中候補者は自分の政策等を有権者に示す方法がありません。候補者がどのような政策を考えているのか、その内容を有権者が判断し、投票できるようにする必要があります。吉田議員はこれに関して国会に2度町田市議会としての意見書を提出していますが、通ることはなかったそうです。この放送を機に、この問題について議論されることを期待したいです。



フェリス女学院大学3年 渡邊慧 (第34期生)

佐藤小百合 研修レポート⑨

今回は建設常任委員会を傍聴しました。主に町田市内の環境や施設整備などについての質問が多かったのですが、町田市に住んでいない私としてはあまり知らないような内容だったので、話についていくのがやっとでした。しかし、議員の方が職員の方に積極的に質問していく様子に、市民の意見をきちんと聞いて、少しでも市民が安心、かつ住み良いまちづくりをしたいんだという気持ちが伝わってきました。その中でも、町田市内にある相原というところの駅前にバス停ができるのかどうかという話ができました。相原には駅前にバス停がなく、駅から遠いところに住んでいる人が不便な思いをしていましたが、バス停ができるという話がでて、整備のために工事が始まったものの、いっこうにバス停ができる気配がないという不満がでているそうです。私も、その話はインターン中に少しだけ耳にしたことがあります。どうやら現在は駅前のロータリーを広げる為に工事を行っているということで、バス停ものちに完成するそうです。

(昭和女子大学3年生 佐藤小百合 34期生)



研修生：藤小百合(左) 渡邊 慧(中)

町田市議会議員 議会報告

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



携帯QRコード
でブログ閲覧



市議会の見学・傍聴

志村 雪菜 研修レポート⑦

町田市議会本会議を傍聴しました。質問を行った31名の議員の方の質問項目の通告書に目を通したところ、一人一人市政において重視している点が全く違うのだと感じました。例えば、オスプレイ問題を表題に上げる方もいれば、地域の交通安全対策を表題にする方、高齢者政策を表題にする方…など31通りの視点からアプローチがありました。その質問の中で子育てや避難施設の問題は、町田に住んでいてこの地で子育てをするかもしれない私自身が非常に身近な問題として受け取ることができました。女性も子育てしながら働かなければいけない時代、子供を預けている母親と子供を預かっている幼稚園教諭、保育士の負担は天秤にかけられているのだと感じました。それぞれの負担を軽減する対策を町田市も一緒に考えていければ良い方向に向かうのではないかと考えています。町田市で子育てしたい、子育てして良かったと思える環境になるのが理想の形だと思うので、その実現を目指して女性だけでなく、男性にも子育て支援について真剣に考える方が増えて欲しいですね。



昭和女子大学3年生 志村雪菜 第34期

渡辺 梨菜 研修レポート⑬

吉田つとむ議員と証券会社に出向き、株の購入に立ちあいました。分刻みで株の相場が変動していて、とても目まぐるしい世界だなという印象でした。吉田議員は、東京三菱UFJ銀行とシャープの株を購入しました。「今は自身で起業した会社を東証に上場させた元インターン生の1人が最初に入社した会社」と言うことにちなんでのことでした。後者は、私が「気になっている会社」と言ったことでその場で購入を決めたとのようでした。そのことで、私もこれから、これらの会社の動向が気になることでしょう。

さて、その応対をしていただいた方は入社5年目ということもあり、てきぱきと仕事をこなしている姿がとてもかっこよく思えました。また、とても気さくな方で世間話から就活まで幅広い分野のお話をさせていただきました。ありのままの自分を最大限に表現することが大切なのではないかとおっしゃっていました。アドバイスをいただくことができてよかったと思っています。



(フェリス女学院大学3年生 渡辺梨菜
第34期生前半7月で終了・2014.6.4記)

★吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、町田市が実施する中学生の職場体験に先行

★大学生・院生を対象に、議員活動に同行することを通じて社会勉強を行う研修制度です。

インターン希望の方、あるいは関心がある方は、ホームページ掲載要旨をご覧の上、ご連絡ください。